

Ⅳ 履修に関する事項

1. 看護保健学科 2) 第40期入学生より 授業科目とその教科内容 (14単位、330時間)

教育内容		単位数	時間数	配当時期	ねらい	教科内容	D P 1	D P 2	D P 3	D P 4	D P 5
科学的思考の基盤 人間と生活、 社会の理解	生命現象と科学	1	30	1 年次前期	生命現象の原則・法則から解剖生理学へとつながる知識を養う	生物)細胞や組織、生命、遺伝子など生物の基礎及び生命現象の法則(化学)物質の構造や性質、化学反応、化学変化などの物質の合成および分析の基礎	○				
	自然現象と科学	1	20	2 年次前期	自然現象を引き起こす物質の構造や運動の法則から生活・看護技術につながる知識を養う	物理)力の合成と分解、作用・反作用、摩擦、テコとトルク、重心と安定、気圧と圧力				○	○
	研究論文作成入門	1	20	2 年次後期	論証の成り立ちや理論の構造について学習し、思考力および表現力を養う	論理的に話す・書くことということ学術論文の基本的構成、基礎的な論証、思考の形式・法則、推論の形式的法則、認識論、論証の的確な活用、文章読解、レポート・研究計画書の書き方		○		○	○
	法と暮らし	1	30	1 年次前期	人の暮らしを守る法律の基礎、法解釈を学ぶ。	憲法、民法、行政法、国際法	○	○			
	人間の発達と適応	1	20	1 年次前期	成長発達各期に亘る人を理解し、人間関係構築の基礎を基礎力を養う	発達理論・生涯発達心理学	○	○			
	生活科学	1	20	1 年次前期	人間の生活を環境との相互作用から理解し、快適な生活環境を創造する力を養う	生活と自然環境、社会と生活、家庭と生活(衣・食・住)	○	○			
	人間と社会	1	20	1 年次前期	社会現象のメカニズムから社会の構造や社会の変動を学ぶ	現代社会の現状、社会環境、社会病理	○	○			
	人間と教育	1	30	1 年次後期	教育の概念・目的を理解し、教育の理論的基礎を学び看護に必要な教育的要素を培う	教育の役割と必要性、教育原理、ルソーの教育学、教育評価、道德教育、教育の法体系	○		○		
	芸術と癒し	1	20	1 年次前期	人間の心身の相関について認識を深め、感性・想像力を養い「癒し」について認識を深める	音楽療法、芸術療法、癒しと表現	○	○			
	語学コミュニケーション(英語)	1	30	1 年次全期	現在の国際社会に対応できる基礎的なコミュニケーション能力と医療に関するコミュニケーション能力を養う	基本的な意思疎通ができるよう、日常の会話に重点を置き、聞き取りができたうえで実際に使える英語・中国語を身につける	○	○			
	語学コミュニケーション(中国語)	1	30	2 年次全期	現在の国際社会に対応できる基礎的なコミュニケーション能力と医療に関するコミュニケーション能力を養う	医療や健康に関する基礎的な英語・中国語を身につける	○	○			
	初年次教育ナビ	1	20	1 年次前期	初年次教育として、学習および人格的な成長に向けて学問的・社会的な体験からキャリア意識を醸成する	情報探索・情報処理・情報の読解、レポート作成、プレゼンテーション		○		○	○
	グローバル社会の理解	1	20	2 年次前期	グローバル社会におけるキャリア開発をテーマに、職業観あるいは、専門能力とはどのようなものかを明確にしつつ、キャリア意識を伸長する。グローバルな課題についての視野を広げ、専門職としてのキャリア意識を高める	世界と多文化社会、日本と国際社会、国際協力、SDGs	○			○	○
	情報の活用と情報倫理	1	20	1 年次前期	情報化社会における情報の取り扱いについて学び、演習を通して情報活用能力を養い、情報倫理について学ぶ	情報の意味、情報社会を支える通信システム、基礎的なweb検索ソフト、Office系アプリ、統計ソフトの使い方、情報倫理		○		○	○

■専門基礎分野 (29 単位、730 時間)

教育内容	科目名	単位数	時間数	配当時期	ねらい	教科内容	D P 1	P D 2	D P 3	D P 4	D P 5
人体の構造と機能	解剖生理学Ⅰ	1	30	1 年次前期	人体を系統別にその形態と機能を理解し、正常な身体が織りなす生命の営みを学ぶ	循環器系 呼吸器系 血液	○				
	解剖生理学Ⅱ	1	30	1 年次前期		脳神経系 運動器系 感覚器系	○				
	解剖生理学Ⅲ	1	30	1 年次前期		消化器系 腎・泌尿器系 内分泌系 生殖器系	○				
	看護のための形態機能学Ⅰ	1	20	1 年次前期	私たちの日常生活行動が何のための行われているのか、どのような身体のしくみから成り立っているのか理解し、生活行動に支障をきたしたときの身体のしくみから看護援助を考える土台をつくる。	生命活動に欠かせない、内部環境の恒常性と維持のための調節機構	○			○	○
	看護のための形態機能学Ⅱ	1	20	1 年次後期		日常生活行動（食べる・排泄する・動く・休む・眠る・話す・聞く）	○			○	○
	栄養と代謝	1	30	1 年次全期	人間にとっての栄養の意義、ライフサイクルの中での栄養の特徴を理解し、食事療法や栄養指導の基礎を学ぶ。	栄養と代謝、栄養所要量、基礎代謝、食品と各種栄養素の栄養学的意識、食事療法	○		○		
疾病の成り立ちと回復の促進	感染症と生体防御		1	30	1 年次後期	人体へ影響を及ぼす微生物の種類や特徴、感染経路を学ぶとともに生体の防御機構を知りその予防対策について理解することをめざす。	微生物の分布と人体（常在菌）微生物の種類と特徴（細菌・真菌・ウイルス）病原微生物の感染経路・耐性菌・予防措置（消毒と滅菌）非特異的生体防御・特異的生体防御反応	○		○	
	病理学		1	20	1 年次後期	疾病の成り立ちと病変の特徴の基礎的知識を習得する	生体反応と疾病の機序（疾病を引き起こす内的外的要因・異常状態の発現） 異常状態の特徴—細胞や組織に生じる変化（炎症、変性、壊死、循環障害、萎縮、過形成、腫瘍） 異常状態に影響する固体の条件（免疫、代謝異常、老化、先天異常）	○	○		
	疾病論	疾病論Ⅰ	1	30	2 年次前期	疾病の概念・診断基準及び鑑別・治療の目的・方法について学び看護の臨床判断のための基礎となる知識を身に着ける	循環器障害 運動器障害 呼吸器障害	○			
		疾病論Ⅱ	1	30	2 年次前期		脳神経障害 内分泌障害 血液・免疫障害	○			
		疾病論Ⅲ	1	30	2 年次後期		消化器障害 腎泌尿器障害 生殖器障害	○			
		疾病論Ⅳ	1	30	2 年次後期		感覚器障害 精神病理・ストレス	○			
	臨床検査		1	20	2 年次前期	診断に必要な検査とその結果の読み取りについて学ぶ。	臨床検査概論、一般、血液、生化学検査、生理機能検査	○	○		
	治療論Ⅰ		1	20	2 年次前期	特徴的な治療の意義や内容などを理解する	リハビリテーション療法（10）放射線療法（4） 透析療法（4）			○	○
	治療論Ⅱ		1	20	2 年次前期		治療用 ME 機器（8）化学療法・疼痛管理（10）			○	○
	疾病の回復と薬理		1	30	1 年次後期	薬物の特性や作用機序、管理や取り扱い、医療事故の危険、法令などについて学ぶ	薬物療法とは何か、また薬物療法における看護師の役割を学ぶ 主な薬物とその薬理作用、副作用について学ぶ	○		○	

健康支援と社会保障制度	臨床心理学	1	20	3 年次前期	個人や集団の適応問題について、その解決に対する援助に必要な知識・技術を学ぶ	臨床心理学 心理療法 心理テスト 自己理解と他者理解 心理面接 カウンセリング	○	○				
	社会福祉の現状と課題	1	30	2 年次後期	経済的困窮者や社会的弱者の権利を擁護する在り方、考え方を学び、社会の基盤や構造について考える。	児童福祉制度、高齢者福祉制度、障害者福祉制度	○					
	保健・医療・福祉と法規	1	30	1 年次後期	保健医療関連法規を学び医療従事者としての業務と責任を認識する。	法規の概念・しくみ、医事法規、薬事法規、保健衛生法規、予防衛生法規、環境衛生法規、公害関係法規、福祉関係法規、労働衛生法規	○	○				
	公衆衛生学	1	20	2 年次全期	地域における組織的な健康管理活動について理解する	公衆衛生の理念、疫学と健康指標、感染症と予防、生活習慣病と予防、生活環境と健康、職場の健康管理、医療の動向と公衆衛生の課題	○	○				
	医療と倫理	1	20	2 年次全期	医療技術が高度化している現代において、生命の価値、医療のあり方と社会的期待、医療における経済など、現代医療が持つ問題について学ぶ。	医療と経済（医療制度の現状、医療の展望） 医療と倫理（自己決定権、体外受精、遺伝子治療、クローン、脳死と臓器移植、安楽死と尊厳死）	○	○				
	家族支援総論	1	20	2 年次全期	家族を単位とした支援の在り方を家族看護理論をふまえて理解する	家族発達段階と保健サービス、家族看護理論、家族の発達と保健活動	○	○				
	保健医療福祉行政論Ⅰ	1	20	2 年次前期	保健医療福祉行政および財政の仕組みを理解するとともに、保健医療福祉計画の企画、評価から地域づくりを推進する保健師の役割を理解する。	保健医療福祉行政の変遷としくみ、社会保障・福祉制度		○		○	○	
	保健医療福祉行政論Ⅱ	1	20	3 年次前期	保健医療福祉行政施策を理解し、生活する人々の特性と	地域の健康課題に対する策定、実施、評価の過程		○		○	○	
	保健医療福祉行政論Ⅲ	1	30	4 年次後期	地域の状況に応じて各地域で効果的な実践活動ができる力をつける	地方公共団体の保健医療福祉行政施策の実際 実習での学びをふまえた帰納的学習		○	○	○	○	
健康現象の疫学と統計	保健統計Ⅰ	1	30	1 年次後期	統計の基礎を学び、情報分析・情報処理の方法を習得する	統計学の基礎				○	○	
	保健統計Ⅱ	1	30	2 年次前期	各種統計を読み健康課題を抽出できる	統計処理の実際				○	○	
	疫学Ⅰ	1	20	1 年次前期	疫学の基礎を学び概念を理解する	疫学の歴史・概念、疫学指標、疫学の研究	○	○		○	○	
	疫学Ⅱ	1	20	3 年次前期	疫学調査・研究の成果を活用できる	疫学調査・研究成果の活用 演習	○			○	○	

専門分野

■基礎看護学（11 単位、290 時間）

科目名	単位数	時間数	配当時期	ねらい	教科内容	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
看護学原論	1	30	1年次前期	看護の主要概念、人間の尊厳・権利を学び看護とは何かを主体的に追究する姿勢を培う	人間・健康・環境・看護の主要概念 看護の定義・機能、看護理論、看護倫理	○	○	○		○
共通基本技術Ⅰ	1	20	1年次前期	看護技術を構成する基本要素を学ぶ	技術論、安全・安楽・自立（律）、感染予防の基礎、スタンダードプリコーション、報告と記録		○	○	○	○
共通基本技術Ⅱ	1	20	1年次前期	対象との関係を構築するための基礎及び対象の権利・尊厳を守る技術を学ぶ	コミュニケーション	○	○	○	○	○
共通基本技術Ⅲ	1	30	1年次前期	バイタルサインとフィジカルアセスメントに関する知識の理解と正しい測定技術、測定値のアセスメントができる。	バイタルサイン、フィジカルアセスメント	○	○	○	○	○
共通基本技術Ⅳ	1	20	2年次前期	対象の看護上の問題を科学的に明らかにする技術を学ぶ	アセスメントの枠組み、看護診断過程			○	○	
共通基本技術Ⅴ	1	20	2年次前期	対象の看護上の問題を計画的に解決し、評価する技術を学ぶ	問題解決過程、SOAP			○	○	
生活支援技術Ⅰ	1	30	1年次前期	人間の生活における環境と活動・休息の意義を理解し、環境を整え、活動・休息を支援する技術を学ぶ	環境調整、ボディメカニクス、活動・休息のアセスメント、体位変換・移動・移送援助、ポジショニング	○		○	○	○
生活支援技術Ⅱ	1	30	1年次前期	食事・排泄の意義を理解し、健康な食事・排泄を支援する技術を学ぶ	食・排泄のアセスメント、食事介助、排泄の援助	○	○	○		
生活支援技術Ⅲ	1	30	1年次後期	衣服と身体の清潔の意義を理解し、更衣・身体の清潔を支援するための技術を学ぶ	清潔のアセスメント、清潔援助	○	○	○		
診断治療に伴う技術Ⅰ	1	30	1年次後期	健康障害を持つ対象者の診断・治療の意義を理解し、診断・治療に伴う基礎的な技術を学ぶ	酸素療法、吸引、無菌操作、包帯法、BLS		○	○	○	
診断治療に伴う技術Ⅱ	1	30	2年次前期	与薬・診察・検査における基礎知識を理解し、安全、安楽で正確な技術を習得できる	薬物療法と看護、各種与薬法、検査・採血			○	○	

■地域・在宅看護論（3 単位、90 時間）

科目名	単位数	時間数	配当時期	ねらい	教科内容	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
地域・在宅看護概論	1	30	1年次全期	暮らしの様々な場の理解と対象の特徴について理解する。地域・在宅看護の目的と社会に求められる在宅看護の役割について理解する	地域・在宅看護の目的、基本理念、多様な生活の場と対象、地域・在宅からとらえる継続支援	○	○			
地域・在宅看護活動論Ⅰ	1	30	2年次全期	生活の場における日常生活支援と医療・治療処置の技術の看護について理解し、継続支援について学ぶ。	生活を支える日常生活支援技術、医療処置技術と家族支援、療養と病期に応じた在宅看護		○	○	○	
地域・在宅看護活動論Ⅱ	1	30	3年次全期	在宅看護に特徴的な状態や状況に応じたアセスメントの視点、在宅看護の展開と多職種連携・協働をふまえた在宅看護過程の特徴を学ぶ。	在宅看護過程の特徴と多職種連携・協働		○	○	○	

■領域横断（4単位、100時間）

科目名	単位数	時間数	配当時期	ねらい	教科内容	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
健康回復支援総論	1	30	1年次後期	健康障害を持つ対象を理解し、状態に応じて看護を提供する能力を養う	健康障害と看護、疾病の経過と看護、治療診断に伴う看護、主要症状と看護	○	○	○	○	○
死と看護	1	20	3年次前期	自らの死生観と人生のどの時期にも起こりうる死の意味を理解し、その人らしい生を全うできるよう終末期にある対象の看護を実践する能力を培う	自らの死生観、成長発達段階各期の死の特徴、全人的苦痛と看護介入、看とり	○	○	○	○	○
看護倫理	1	30	4年次前	事例をもとにリスクマネジメント能力、倫理的判断能力を養う	倫理的葛藤、倫理的ジレンマ、意思決定のプロセス		○	○	○	○
災害看護と救命救急	1	20	3年次前期	災害医療や災害看護の理解を深め、生命の危機的状況にある人への基礎的な看護を学ぶ	災害看護の変遷、災害の種類と疾病構造、災害各期の看護、救命救急の概念、救命救急技術		○	○	○	○

■公衆衛生看護学（16単位、360時間）

科目名	単位数	時間数	配当時期	ねらい	教科内容	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
公衆衛生看護学概論I	1	20	1年次後期	公衆衛生看護学の理念・目的・対象とその歴史、活動方法を理解する	公衆衛生看護学の理念、目的、対象と場の特性、歴史、法制度とヘルスプロモーション	○	○	○		
公衆衛生看護学概論II	1	20	1年次後期	潜在・顕在する健康課題と課題解決のための政策、公衆衛生看護の領域と保健活動の場を理解する	公衆衛生看護の活動領域、活動の場、健康課題に応じた政策	○	○		○	○
公衆衛生看護技術論	1	20	2年次前期	保健師活動のコアとなる公衆衛生看護技術の実際を学ぶ	家庭訪問の目的・対象・プロセス・技術、健康相談、健康診査の目的、対象、方法、プロセス	○	○	○	○	○
公衆衛生看護展開論I	1	20	1年次後期	地域の特性をとらえ、地域の健康加地あの明確化、支援計画立案の過程を理解する	生活が営まれる場、地域の特性、地域診断の概念、プロセス・理論と方法、京都市南区にある社会資源を知る（地域踏査）	○	○	○	○	
公衆衛生看護展開論II	1	20	2年次前期	集団の健康管理をふまえ、地域の健康課題の抽出と事業の企画について学ぶ	情報処理と対象の選定、ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチ、事業化	○	○	○	○	
公衆衛生看護展開論III	1	20	3年次後期	地域診断を行い、支援計画に基づき、実践、評価する過程について理解する	地域診断、地域支援計画、モニタリング・評価、活動・事業計画と保健師の役割		○	○	○	
対象別保健活動論I	2	40	2年次後期	対象特性をふまえ、地域生活を基盤としたさまざまな保健活動について理解する	成人保健の理念・動向・施策、保健活動。高齢者保健の理念・動向・施策、保健活動		○	○	○	○
対象別保健活動論II	2	40	3年次前		母子（親子）保健活動、歯科保健	○	○	○	○	
対象別保健活動論III	2	40	3年次前		障がい者（児）保健・精神保健・難病保健・感染症対策	○	○	○	○	○
対象別保健活動論IV	1	30	3年次後期		産業保健・学校保健	○	○		○	
多職種連携支援論	1	30	4年次前期	関係者・関係機関と協働して健康課題を解決し、地域の健康増進力を高める方法を考える	児童虐待、地域包括ケアシステムの構築、生活習慣病予防、がん対策等、地域の健康課題に応じたネットワークの構築や他職種との連携の実際		○	○	○	
地域づくり論	1	30	4年次前期	地域全体のエンパワメントを目指したソーシャルキャピタルの醸成方法を探る	地域組織化活動、健康危機管理、災害を視野にいたれた地域診断、多職種と連携した地域づくり	○	○	○	○	○
公衆衛生看護管理論	1	30	4年次後期	公衆衛生看護管理の目的と方法を理解し、効果的、効率的な公衆衛生活動に必要な管理機能と保健師の役割について理解する	地区管理、予算管理、情報管理、人材育成、危機管理	○	○	○	○	○

■成人看護学（5単位、140時間）

科目名	単位数	時間数	配当時期	ねらい	教科内容	DP1	PD2	DP3	DP4	DP5
成人看護学概論	1	20	2年次前期	成人各期にある対象の特徴を捉え、健康問題の経過に応じた看護の視点について理解できる	成人各期の理解、成人の生活の理解、成人期に特有な理論、健康問題の特徴と経過に応じた看護	○	○		○	○
成人看護学方法論Ⅰ	1	30	2年次後期	急性期（生命の危機的な状況）にある対象の生命維持・回復に向けた看護を学ぶ	急性疾患、外傷、慢性疾患の急性増悪でクリティカルケアを必要とする看護。危機理論、シミュレーションによる2次救命救急技術演習	○	○	○	○	
成人看護学方法論Ⅱ	1	30	3年次前期	周術期にある対象の理解と、生体侵襲に伴う生体反応や手術に伴う二次的障害、社会的影響を理解し、術前・術中・術後の看護援助を学ぶ	問題解決思考活用法を含む、麻酔の種類、手術の種類、生体反応	○	○	○	○	
成人看護学方法論Ⅲ	1	30	2年次後期	リハビリテーション期にある成人の対象者を理解し、日常生活の再構築に向けた看護を学ぶ	リハビリテーション期の対象理解・セルフケア再獲得にむけた看護、障害別セルフケアと看護		○	○	○	
成人看護学方法論Ⅳ	1	30	3年次前期	慢性期にある成人の対象者を理解し、生涯にわたって必要となるセルフマネジメントについての看護支援について学ぶ	セルフマネジメントの概念・成人教育の視点・健康問題に応じたセルフマネジメントに必要な看護		○	○	○	

■老年看護学（3単位、80時間）

科目名	単位数	時間数	配当時期	ねらい	教科内容	DP1	PD2	DP3	DP4	DP5
老年看護学概論	1	30	1年次後期	老年期の対象者の特徴を理解し、老いととりまく社会を理解する	老年期の対象者の特徴と老いを取り巻く社会の理解、高齢者と社会保障	○	○			○
老年看護学方法論Ⅰ	1	30	2年次前期	加齢・健康問題に伴い必要となる日常生活自立の支援技術が理解できる	加齢・健康問題に伴う日常生活自立の支援技術、老いとリハビリテーション	○	○	○	○	
老年看護学方法論Ⅱ	1	20	2年次後期	老年期の特徴的な症状と健康問題及び看護を学ぶ	老年期の治療環境下における看護と安全管理、特徴的な疾患のアセスメントと看護、			○	○	○

■小児看護学（4単位、110時間）

科目名	単位数	時間数	配当時期	ねらい	教科内容	DP1	PD2	DP3	DP4	DP5
小児看護学概論	1	30	2年次前期	小児看護の対象・目的・看護の役割について学ぶ。小児の成長発達のプロセスを理解し、成長・発達を促すための援助方法について学ぶ	子どもの成長発達と看護 小児看護の変遷、子どもと家族の概念、各発達段階に応じた健康増進への援助、健康な子どもの理解に必要な技術	○	○	○	○	○
小児看護学方法論Ⅰ	1	20	2年次前期	健康問題が子どもと家族に及ぼす影響と看護について学ぶ	小児特有の健康問題、子どもの健康問題と看護（急性期、手術を受ける子どもの看護、慢性期、終末期）	○	○	○	○	○
小児看護学方法論Ⅱ	1	30	2年次後期	健康問題が子どもと家族に及ぼす影響と看護について学ぶ	さまざまな健康状態にある子どもと家族への看護	○	○	○	○	○
小児看護学方法論Ⅲ	1	30	3年次前期	小児特有の看護技術を学び、健康問題の解決に向けて必要な看護を理解する	小児看護技術の必要性と小児特有の看護技術を理解する。援助計画に沿った実施と評価。	○	○	○	○	○

■母性看護学（4単位、110時間）

科目名	単位数	時間数	配当時期	ねらい	教科内容	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
母性看護学概論	1	20	1年次後期	リプロダクティブヘルスライツを基本に性と生殖の意義を理解し、女性の一生を通しての健康をライフサイクル全体で考え、女性の健康維持・増進と母性機能を円滑に遂げていくための母性看護の役割・機能を学ぶ	母性の概念と母性の特徴、人間の性と生殖、母子看護の歴史の変遷、母子保健の動向、リプロダクティブヘルスケア、外国人母子、災害母子への看護、母性看護に関する理論、ヘルスプロモーション、生命倫理	○	○		○	○
母性看護学方法論I	1	30	2年次全期	妊娠の正常な経過や異常、分娩のマタニティサイクルの特性、正常と異常についての看護を学ぶ	妊娠期の特性、妊婦と胎児の健康状態のアセスメント、ウエルネスの視点、ハイリスク妊婦の意義、妊娠期、分娩期、産褥期の看護技術、正常な分娩・産褥経過、新生児の生理的特徴と新生児の看護		○	○	○	○
母性看護学方法論II	1	30	3年次前期	正常経過の褥婦・新生児の看護実践をウエルネス志向のアセスメントができる展開方法を学ぶ。	ウエルネス看護診断、看護過程。シミュレーション演習、母性看護特有の技術		○	○	○	○
母性看護学方法論III	1	30	4年次前期	ライフサイクルに焦点をあてた女性の健康課題と看護を学ぶ。セルフケアの視点から健康教育を企画・運営、プレゼンテーションスキルを学ぶ。	母性看護の基本となる考え方、女性のライフステージ各期の特徴と健康問題、看護。リプロダクティブヘルスケア、健康教育の企画・運営、プレゼンテーション	○	○	○	○	○

■精神看護学（3単位、90時間）

科目名	単位数	時間数	配当時期	ねらい	教科内容	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
精神看護学概論	1	30	1年次後期	精神看護の対象者である人間の理解を深め、精神看護の目的・役割機能を考える。併せて事故を管理する能力を育成するとともに精神看護を行うものの資質の向上を目指す	精神看護の目的と役割、機能。自我の構造、防御規制、社会の中の精神障害、ケアとセルフケア	○		○	○	○
精神看護学方法論I	1	30	2年次後期	人の心の構造について理論を通して理解し、様々な事例を通して精神看護を実践するための基礎的知識・技術を学ぶ	セルフケア援助の看護モデル、治療的環境、治療的アプローチ、地域を支える社会資源、患者看護師関係の演習	○	○	○		
精神看護学方法論II	1	30	3年次前期	精神疾患の病態生理と、健康状態に応じた精神看護を学ぶ	主な疾患の健康状態に応じた看護、事例展開、地域における精神看護、リエゾン精神看護	○	○		○	

■看護の統合と実践（4単位、100時間）

科目名	単位数	時間数	配当時期	ねらい	教科内容	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
看護管理	1	20	4年次全期	看護をサービスとしてとらえ、マネジメントとは何か、看護の経済性、効率性について考え、看護管理について基礎的な理解を深める	医療安全、看護サービスのマネジメント、看護ケアのマネジメント、マネジメントに必要な知識と技術		○	○	○	○
看護研究I	1	20	3年次前期	研究の基本的知識・態度を習得し、看護を多角的な視点から深く考察し、質の高い看護を追求する能力を養う。	研究の基本的知識、文献検討の実践、研究計画書		○		○	○
看護研究II	1	30	4年次前期		研究活動の実践、研究発表		○		○	○
国際看護	1	30	4年次全期	国際社会における保健医療福祉の実情を知り、グローバルな視点で国際看護を考える。	世界の健康問題と看護、看護の動向と政策、国際看護活動と国際機関	○	○		○	○

■臨地実習（28 単位、1200 時間数）

科目名		単位数	時間数	配当時期	ねらい	教科内容	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
基礎看護学実習	基礎看護学Ⅰ実習	1	45	1年後期	患者と人間関係の構築を図りながら、取り巻く環境を理解し、看護援助の実際を学ぶ	①コミュニケーション ②患者理解 ③入院環境のアセスメント ④観察技術・日常生活援助の実施 ⑤看護の評価	○	○	○	○	○
	基礎看護学Ⅱ実習	3	120	2年前期	患者との人間関係を基盤に看護のアセスメントの視点に基づいて患者を総合的に理解し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を学ぶ	①看護に必要な情報収集 ②看護の枠組みに沿ったアセスメント ③患者の全体像把握 ④看護診断、看護計画立案 ⑤看護計画に基づいた援助の実施 ⑥看護成果について評価 ⑦意図的なコミュニケーション	○	○	○	○	○
地域・在宅看護論実習	地域・在宅看護論Ⅰ実習	1	30	1年全期	地域で暮らす人々の多様な価値観と健康観を知り、「生活者」の健康を支援する場と機会について理解する	①地域におけるコミュニティ特性 ②地域の人々とのコミュニケーション ③地域包括ケアシステムの概念	○	○		○	○
	地域・在宅看護論Ⅱ実習	2	90	3後～4前	保健・医療・福祉の地域ケアシステムにおける看護の果たす役割を理解し、地域で暮らす対象者の健康問題や生活課題をふまえた訪問看護活動の実際を学ぶ	①在宅療養者とその家族の理解 ②対象に必要な看護 ③在宅看護過程の特徴 ④在宅看護の役割	○	○	○	○	○
成人・老年看護学実習	老年看護学実習	2	90	3年前期	老年期にある対象者を全人的に理解するとともに、日常生活を通して、個々の QOL に応じた看護ができるための能力を養う。	①高齢者施設の概要 ②老年期の特徴 ③対象の日常生活支援 ④老年期にある対象の QOL ⑤施設における老年看護の役割	○	○	○	○	○
	健康回復支援看護実習	2	90	3後～4前	健康障害を持つ対象及びその家族がその人らしい生活を送れるよう健康の維持・増進、健康の回復、安らかな死への看護を実践する能力を養う	①対象の発達段階と発達課題 ②対象とその家族の理解 ③対象の健康状態のアセスメント ④対象の健康状態に応じた看護（目標設定・看護計画・実施・評価） ⑤多職種連携・社会資源の活用	○	○	○	○	○
	周手術期看護実習	3	120	3後～4前	手術療法を受ける対象とその家族を総合的に理解し、周手術期の看護実践能力を養う。	①手術療法を受ける対象とその家族の理解 ②手術中の看護師の役割 ③術後の環境調整 ④術後の全身状態の観察 ⑤術後の早期離床と看護 ⑥術後合併症の予防 ⑦回復状態に応じた生活支援技術 ⑧退院指導、継続看護	○	○	○	○	○
小児看護学実習	小児看護学Ⅰ実習	1	45	2年全期	健康な乳幼児の成長発達を理解し、健全な発達に必要な援助を理解する。また子どもを取り巻く環境について理解し、地域における子育て支援について理解する	①乳幼児の発達 ②発達段階と保育士の関わり ③保育施設の役割 ④保育施設の安全対策	○	○		○	○
	小児看護学Ⅱ実習	1	45	3全～4前	子どもを成長・発達し続ける存在として捉え、さまざまな健康状態に応じた看護援助の方法を理解する。さらに子どもと家族を1つの単位として捉え、家族への援助の必要性を理解する。	①子どもの成長・発達段階 ②健康問題を持つ子どもの家族の特徴 ③子どもの健康問題 ④入院・健康問題が児に及ぼす影響 ⑤子どもの健康問題に対する援助 ⑥子どもの権利、小児看護における倫理的配慮	○	○	○	○	○

母性看護学 実習	母性看護 学実習	2	90	3 全 4 前	母性看護の対象と特性を理解し、健康を維持増進していくために適切な看護が実践できる基礎的能力を養う	①母性看護の対象の特性 ②母子の健康状態アセスメント ③保健指導・育児指導 ④母性看護に必要な看護技術 ⑤母性を取り巻く保健・医療・福祉 ⑥母性看護における看護師の役割 ⑦母性意識・父性意識 ⑧生命の尊厳・生命倫理	○	○	○	○	○
精神看護学 実習	精神看護 学実習	2	90	3 全 4 前	精神に障害を持つ対象を理解し、関わりを通して適切な看護を学ぶ	①精神に障害を持つ対象理解 ②精神科病棟の環境 ③対象に必要な看護（全体像、看護上の問題の明確化、看護システム） ④対象に必要な社会資源、継続支援 ⑤人間関係技術の基本、治療的人間関係技術	○	○	○	○	○
看護の統合 と実践実習	統合実習	3	120	4 年前期	看護専門職者として自己の課題を明確にし、自己研鑽する能力を養うとともに、看護チームの一員として実務に即した看護実践を主体的に取り組み、看護実践能力の向上をめざす	①臨床の場で起こる状況の判断（情報収集、優先順位の判断、必要な援助） ②リスク予測、安全な看護 ③看護チームの一員（コミュニケーション、報告・連絡・相談、主体的な行動） ④チーム医療におけるマネジメント ⑤看護専門職者としての課題と展望	○	○	○	○	○
公衆衛生看護学 実習	公衆衛生看護学Ⅰ実習	2	90	4 年 全 期	保健師活動の実際を学び、住民の命と暮らしを守る公衆衛生活動の機能と役割を理解する	①地域の特性と健康課題 ②公衆衛生活動の実際 ③関係機関との連携と協働 ④地域づくりに必要な社会資源 ⑤公衆衛生活動における保健師の役割	○	○	○	○	○
	公衆衛生看護学Ⅱ実習	2	90	4 年 全 期	高齢者の健康の保持増進及び生活の安定を目指した地域包括支援センターの活動から保健師の役割を考える	①地域包括支援センター担当圏域の高齢者の特徴と地域の特徴 ②地域で生活する高齢者の健康と生活 ③介護予防ケアマネジメント ④社会資源の活用方法 ⑤地域の健康課題解決の方法	○	○	○	○	○
	公衆衛生看護学Ⅲ実習	1	45	4 年 前 期	働く人の抱える健康課題と産業保健活動及び学校保健の実際を学び、産業保健師・産業看護師の役割、地域における学校保健における学校保健の機能と役割を理解する	1) 産業保健 ①事業者・労働衛生機関の機能と役割 ②労働と健康の関連 ③産業保健活動の実際 ④産業保健師の役割 2) 学校保健 ①学校教育活動と学校保健安全計画 ②学校保健管理・保健教育・安全教育 ③健康問題を抱える自動・生徒への支援 ④地域・家庭・関係職種との連携と組織活動 ⑤保健室の運営	○	○	○	○	○

4) 実習施設一覧

種別	実習施設名
病院	社会医療法人 岡本病院（財団） 京都岡本記念病院
	医療法人財団 康生会 武田病院
	独立行政法人 地域医療機能推進機構 京都鞍馬口医療センター
	京都山城総合医療センター
	社会福祉法人 あじろぎ会 宇治病院
	医療法人 医仁会武田総合病院
	京都清水メディケアシステム 京都リハビリテーション病院
	医療法人財団 医道会 十条武田リハビリテーション病院
	医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院
	一般財団法人 長岡記念財団 長岡ヘルスケアセンター（長岡病院）
	医療法人社団 石鎚会 京都田辺中央病院
	地方独立行政法人 京都市立病院機構 京都市立病院
	社会医療法人西陣健康会 堀川病院
	医療法人清仁会 シミズ病院
	医療法人 社団 医聖会 学研都市病院
介護老人保健施設・介護老人福祉施設	京都清水メディケアシステム 介護老人保健施設 第二京しみず
	医療法人社団石鎚会 介護老人保健施設 やすらぎ苑
	京都清水メディケアシステム 特別養護老人ホーム 深草しみずの里
	医療法人 清水会 介護老人保健施設 深草京しみず
	社会福祉法人 京都悠仁福祉会 特別養護老人ホーム 加茂の里
	社会福祉法人京都悠仁福祉会 特別養護老人ホーム ヴィラ鳳凰
児童福祉施設	社会福祉法人 ゆうあい会 こども園いしはら
	社会福祉法人ののほな会 吉祥院こども園
	社会福祉法人塔南学園 塔南保育園
	社会福祉法人 下京ひかり保育園
	社会福祉法人宇治福祉園 みんなのき 三室戸こども園
	社会福祉法人宇治福祉園 みんなのき 黄檗こども園
	社会福祉法人 だん王子供の家 だん王保育園
	京（みやこ）あんしんこども館
訪問看護ステーション	医療法人財団 康生会 柳馬場訪問看護ステーション
	公益社団法人 京都保健会 総合ケアステーションわかば
	医療法人 健康会 訪問看護ステーションみなみ
	医療法人葵会 葵会総合ケアステーション
	公益社団法人 京都保健会 訪問看護ステーション太秦安井
	公益社団法人 京都保健会 吉祥院訪問看護ステーション
	独立行政法人地域医療機能推進機構 京都鞍馬口医療センター訪問看護ステーション くらまぐち
	医療法人社団 淀さんせん会 訪問看護ステーション ひだまり
福祉施設	障害者就労支援施設 スパシアム京都 就労支援センターししん
	社会福祉法人 京都基督教福祉会 洛西愛育園
	社会福祉法人 京都光彩の会 西山高原工作所
	社会福祉法人 京都光彩の会 京都市朱雀工房
	社会福祉法人 京都育成の会 西寺育成苑
	社会福祉法人 京都聴覚言語障害者福祉協会 京都市聴覚言語障害センター 青空工房
	社会福祉法人 修光学園 ワークセンター Halle !
	社会福祉法人 京都障害者福祉センター 京都市洛南障害者授産所

産業保健施設	一般財団法人 京都工場保健会
	株式会社 堀場製作所
	株式会社 村田製作所
	京都信用金庫
	第一工業製薬株式会社 滋賀工場
	洛和会ヘルスケアシステム 洛和会京都健診センター（東寺南病院健診センター）
地域包括支援センター	京都市原谷地域包括支援センター
	京都市御池地域包括支援センター
	京都市東山地域包括支援センター
	京都市下京・中部地域包括支援センター
	京都市下京・西部地域包括支援センター
	京都市下京・東部地域包括支援センター
	京都市島原地域包括支援センター
	京都市東九条地域包括支援センター
	京都市久世地域包括支援センター
	京都市陶化地域包括支援センター
	京都市唐橋地域包括支援センター
	京都市葛野地域包括支援センター
	京都市下鳥羽地域包括支援センター
	京都市保健福祉センター（各区役所・支所・保健福祉センター）
学校施設	京都市立北総合支援学校
	京都市立呉竹総合支援学校
	京都市立西総合支援学校
	京都市立東総合支援学校